

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	岡山県立岡山操山中学校	実践者名	頓宮 佳子
教科	国語科	学年	第2学年
活用内容	意見交流 文書作成	実践日	令和3年9月24日(金)
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	古典に親しむ ～『枕草子』を読んで自分の清少納言の人物像を考える～		

活用の概要(目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

【前時まで】『枕草子』から引用された4つの資料から1つを選び、資料から読み取ったことや清少納言の人物像に関する事柄を根拠と共にジャムボードにまとめておく。ジャムボードは全体で共有されており友達の意見も随時参考にできる。



【本時】

(1) ジグソーワークシート(右下画像参照)に、自身が読み取った清少納言の人物像の仮説を書く。

「ジグソー活動」や「クロストーク」を行い、清少納言の人物像を考える。

(2) グループで、「ジグソー活動」を行う。

- ・他の資料から読み取った各自の清少納言の人物像を話し合う。必要に応じて、端末の画面も活用して説明する。
- ・友達の意見と自分の意見を比較しながら、ワークシートに気づいたことをメモする。

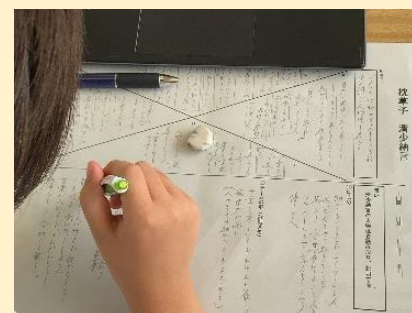


(3) クラス全体で、「クロストーク」を行う。

- ・全体で意見交流を行い、清少納言の人物像を深めていく。

(4) 学習のまとめと振り返りを行う。

- ・これまでの学習を踏まえ、自分なりの清少納言の人物像の結論をワークシートにまとめる。
- ・古典世界も、身近なことと結び付けてとらえることができることを確認する。



前時までの端末を活用した個々の学びがあったからこそ、本時ではワークシート(紙)を中心としたジグソー活動やクロストークによる活発な対話生まれ、深い読み取りにつながった。

実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
前時までは端末を活用し、資料を共有しながら進めてきたが、本時で端末は補助的な活用にとどめ、ワークシートを中心とした話し合いを行った。まとめでは、多くの生徒が自分の言葉で結論(納得解)を導き出すことができていた。	(生徒から) 「ジャムボードをクラス全体で共有していたので、他グループの意見もしっかりと確認できて、清少納言の人物像を深めるのに役立った。自分の考えを説明するのにも便利だった。」

*ジグソー活動…学習したことをグループで持ち寄り、課題を解く。他者の多様な考えを統合し、自分の考えを深めることをねらいとしている。

*クロストーク…グループで出した答えを、根拠も併せてクラス全体で発表し、話し合う。それぞれの答えを比較、検討、吟味した後、最後は一人ひとりが問いに対する答えを作る。